

# SONY®

## FM/AM ミニディスクプレーヤー

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## MDX-C7400X

©2000 Sony Corporation



**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

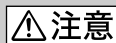
## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

△警告・△注意	4
はじめに	7
まず、本機をリセットする	8
時計を合わせる	9
各部のなまえ	10
MD・ラジオの聞きかた	12
メニュー画面/リスト表示について	14
カードリモコンの操作	16
ロータリーコマンド(別売りの) 操作	17

## MD・CD

MD/CDを聞く	19
繰り返し聞く(リピート再生)	22
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	23
ディスクに名前をつける(ディスクメ モ/カスタムファイル)	24
CDの聞きたい曲だけを聞く (バンク/カスタムファイル)	26
ディスクを名前で探す(リスト)	28
CD TEXTを見る	29

## ラジオ

放送局を自動で登録する	31
特定の放送局を登録する	34
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	35
放送局を名前で探す(リスト)	37

## テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	38
別売りのビデオを見る	40
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ)	41

## 携帯電話

電話をかける	42
電話を受ける	43
その他の操作	44
その他の設定	45

## サウンドの設定

DSOを設定する	46
イコライザーを使う(EQ)	47
リスニングポジションを設定する (POS)	49
音のバランスや音質を設定する (バランス)(ATT) (ソースサウンドメモリー)	51
スピーカーの出力を設定する	52
サブウーファーの出力を設定する	54
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)	56

## その他の操作

音や表示などの設定を変える (Set up/Display)	58
使用上のご注意	60
故障かな?	63
保証書とアフターサービス	67
主な仕様	68
索引	70



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

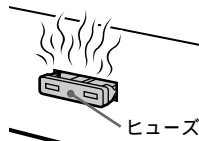


### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



## MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっていました。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかけられないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



### MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



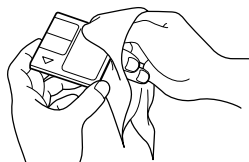
### 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



### お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



### ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

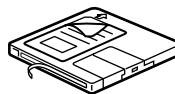
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



---

# はじめに

- 本機はMDとラジオに対応。
- 広がりのある音場を創造する新機能DSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能付きHX-DSP搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドEQ(イコライザー)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ
- 携帯電話用ハンズフリーキット XCH-1000

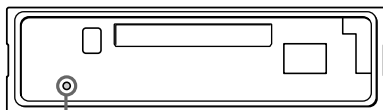
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのロータリーコマンダー、CD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

# まず、本機を リセットする

初めて使うときや、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押す。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

## ご注意

リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。

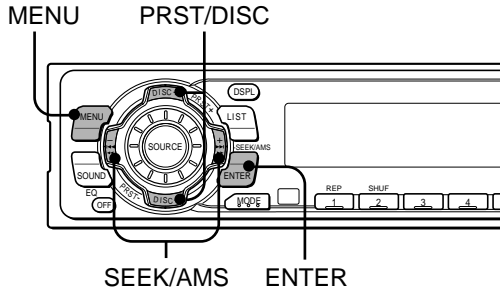


リセットボタン



# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。



## ちょっと一言

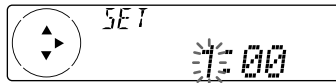
D.Info機能をonに設定すると常時計が表示されます(58ページ)。

### 1 MENUボタンを押す。

### 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Clock」を選ぶ。



### 3 ENTERボタンを押す。



① PRST/DISCボタンの+または-を押して「時」を合わせます。

② SEEK/AMSボタンの+側を押して「分」の位置に移動し、PRST/DISCボタンの+または-を押して「分」を合わせます。

PRST/DISCボタンの-側を押すと数値が戻り、PRST/DISCボタンの+側を押すと数値が進みます。

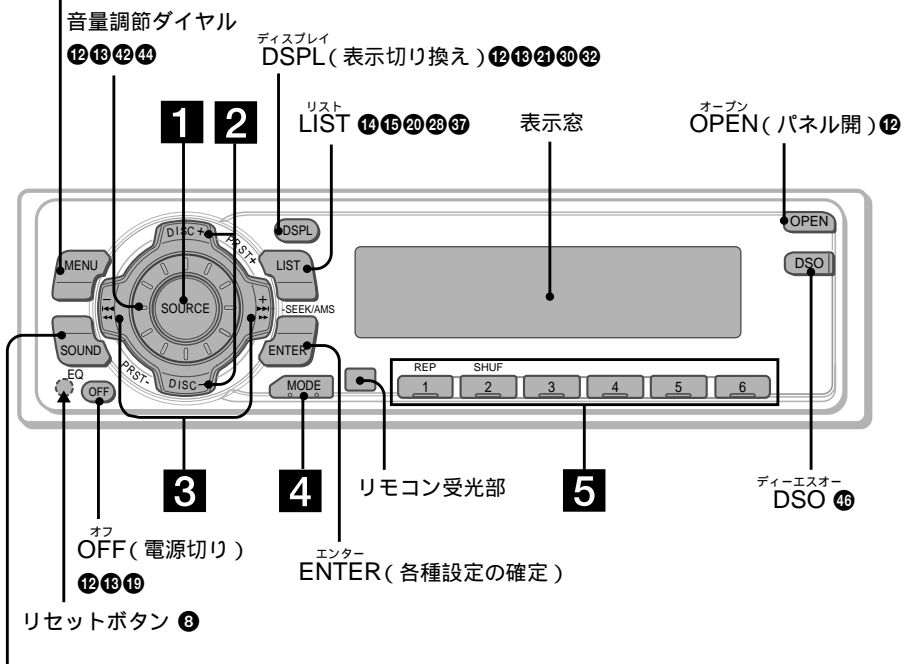
### 4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# 各部のなまえ

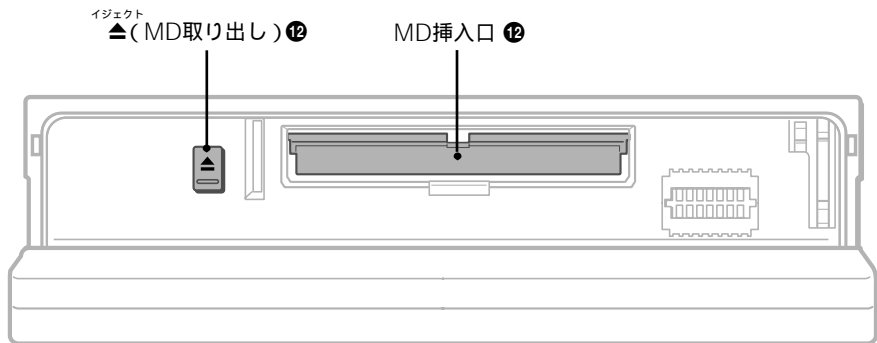
くわしい説明は●内のページをご覧ください。

メニュー  
MENU (各種設定モードに入る)



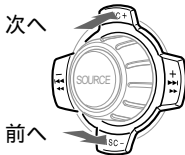
サウンド/イコライザー  
SOUND/EQ (音量調節 / 音質選択)

47 49 51 52 54



**1** ソース  
SOURCE (ラジオ/CD/MD/TV/TEL切り換え) ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛

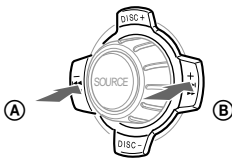
**2** プリセット/ディスク  
PRST/DISC (プリセットサーチ/ディスク選択/メニュー項目選択)



ラジオ/TV 登録した局の選局 ㉚ ㉛

CD/MD ディスクの選択 ㉔  
(チェンジャー接続時)

**3** シーク/エーエムエス  
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局/設定項目選択)



	(A)	(B)
ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)

CD/MD	前の曲へ 早戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
-------	------------------------	------------------------

TEL	着信履歴	発信履歴
-----	------	------

**4** モード  
MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え ⑮ ⑯ ㉑
-----	--------------------------------

CD/MD*	CD/MD機器の切り換え ⑲
--------	----------------

TV*	TV1/TV2/AUXの切り換え ㉒ ㉓ ㉔
-----	---------------------------

\* 別売りの機器が接続されているとき

**5** 数字(1~6)ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 ⑬ ㉑ ㉒
-----	--------------------

CD/MD	1: REPボタン ㉔ 2: SHUFボタン ㉕
-------	-----------------------------

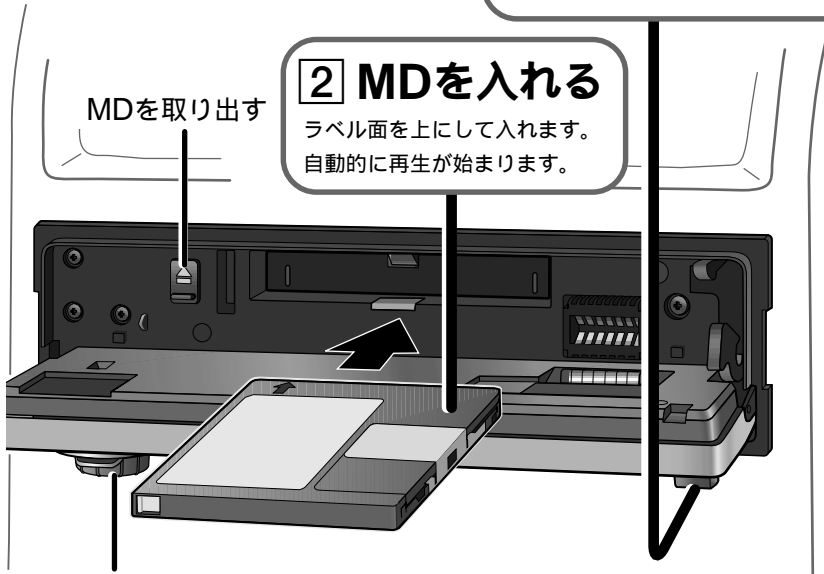
TV	チャンネルの登録/選択 ㉖
----	------------------

ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

# MD・ラジオの聞きかた

## MDを聞く

### 1 パネルを開ける



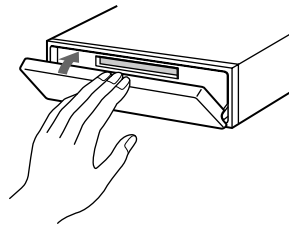
### 2 MDを入れる

ラベル面を上にして入れます。  
自動的に再生が始まります。

MDを取り出す

音量を調節する

### 3 パネルを手で閉める



ディスクが入っているときは  
SOURCEボタンを押して「MD」表示に  
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには  
DSPLボタンを押します。

止める / 電源を切るには  
OFFボタンを押します。

聞きたいところを探す(手動サーチ)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたいと  
ころで離します。

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

SEEK/AMSボタンをとばしたい曲の数だけ  
短く押します。

前に戻す



先に進める

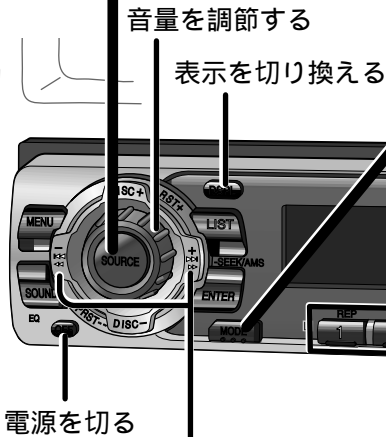
曲の頭や前  
の曲へ戻す



次の曲へ進む

# ラジオを聞く

## 1 ラジオ受信にする



## 2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。

### 自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。



### 希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

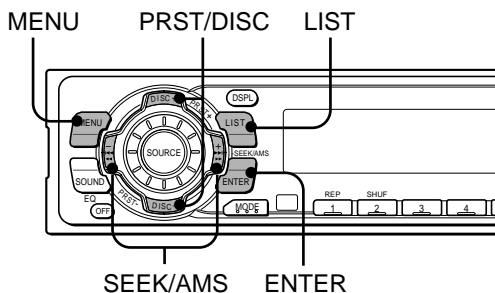


## 3 聞きたい放送局を選ぶ

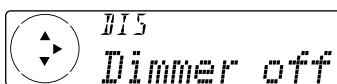
数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。  
くわしくは31～34ページをご覧ください。

# メニュー画面 / リスト表示について

MENUボタンまたはLISTボタンを押すと次のようなメニューまたはリストが表示されます。

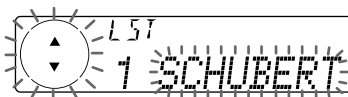


## メニュー画面 (MENUボタンを押して表示)



- 1 MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- 2 PRST/DISCボタンまたはSEEK/AMSボタンを押して設定項目と設定内容を選び、ENTERボタンを押して決定します。
- 3 MENUボタンを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。

## リスト画面 (LISTボタンを押して表示)



- FMまたはAMを選び、LISTボタンを押すとプリセット局のリストが表示されます。
- 別売のCD/MDチェンジャーを接続している場合は、CDまたはMDを選びLISTボタンを押すと、ディスク名のリストが表示されます。  
CDを選んだ場合は、PRST/DISCボタンでディスクを選びます。

ちょっと一言  
ディスク名のついていないディスクの場合、「\*\*\*\*\*」と表示されます。

## 登録名でディスクまたはプリセット局を選ぶには

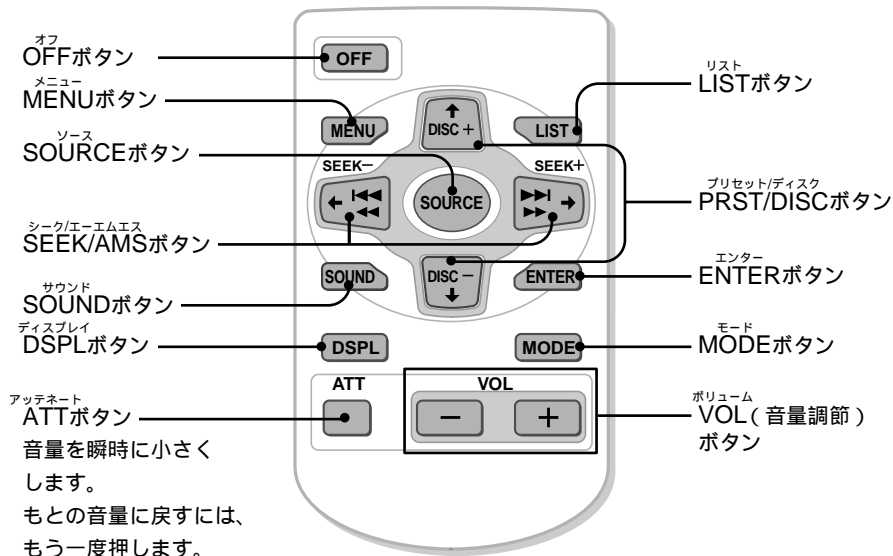
ディスク名のリストまたはプリセット局のリスト画面で、PRST/DISCボタンを押して希望のディスクまたは放送局を選び、ENTERボタンを押します。

選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、LISTボタンを押します。

# カードリモコンの操作

本機のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



## ご注意

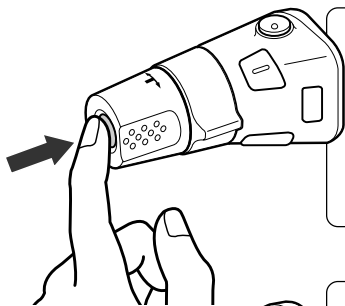
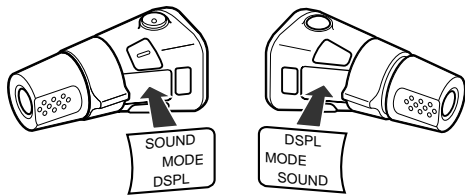
本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押し、時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってください。



# ロータリーコマンダー(別売り)の操作

## ロータリーコマンダーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

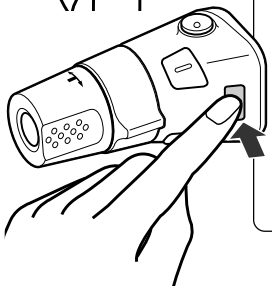


ソース

### SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押し続けるとソースが  
TUNER CD\* MD TV\* TEL\*  
と切り換わります。

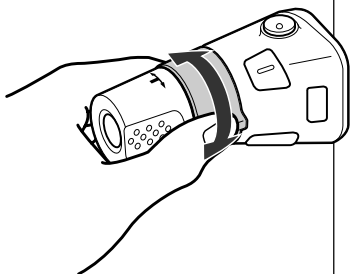
\* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



モード

### MODEボタンを押すと

ラジオの時: FM1 FM2 AM1 AM2 ...  
CDの時: CD1 CD2 CD3 ...  
MDの時: MD1 MD2 MD3 ...  
テレビ/ビデオの時: TV1 TV2 AUX ...  
と切り換わります。



シーク/エーエムエス

### SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

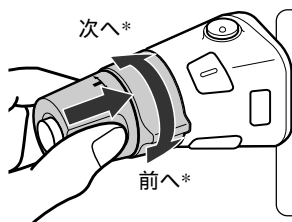
ラジオ... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD/MD... 曲の頭出しをする  
回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります。

テレビ... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定のチャンネルに合わせられます。

TEL... 発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出  
せます。

## ロータリーコマンドーの操作(つづき)



ボリューム

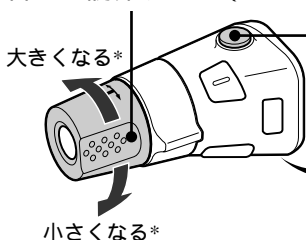
**VOLつまみを押しながら回すと**

FM/AM/TV... 登録した放送局を順に受信する

MD/CD ..... ディスクを切り換える\*\*

表示画面は数秒後にもとに戻ります。

音量を調節する\*\*\* (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げるアッテネート(ATTボタンを押す)

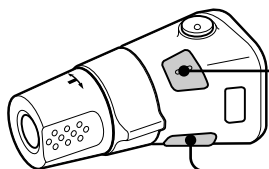
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

電源を切るオフ(OFFボタンを押す)

\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

\*\* チェンジャー - 接続時のみ。

\*\*\* TEL時は登録した電話番号を選択するつまみになります。



音量調節・音質選択するサウンド(SOUNDボタンを押す)

本体のSOUND/EQボタンと同じ働きをします。

画面表示を変えるディスプレイ(DSPLボタンを押す)

本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

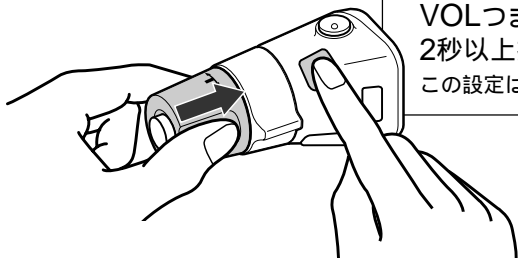
## つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボリューム

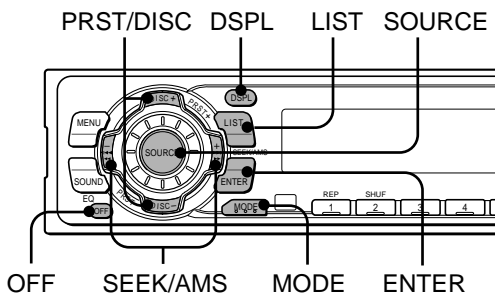
**VOLつまみを押しながら、サウンドSOUNDボタンを2秒以上押す**

この設定は、本体でもできます(58~59ページ)。



# MD/CDを聞く

本機または別売りのCD/MD機器を使って、MDやCDを再生できます。



## 聞きたい機器を選ぶ

再生中にMODEボタンを繰り返し押し、聞きたいMD/CD機器(本機または別売りのMD/CD機器)に切り換える。

### MDの場合

MD1(本機) → MD2(MD機器1) →  
MD3(MD機器2)

### CDの場合

CD1(CD機器1) → CD2(CD機器2) →  
CD3(CD機器3)

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

[次のページへつづく](#)

## MD/CDを聞く(つづき)

### ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれないことがあります。
- 「\*\*\*\*\*」と表示されたときはディスク名のついていないディスクです。

### 聞きたいディスクを選ぶには

再生中にPRST/DISCボタンの+または-を繰り返し押し押す。

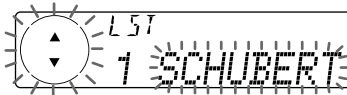
次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

### ディスク名から選ぶには

**1** SOURCEボタンを繰り返し押し押して、「MD」または「CD」を選ぶ。

**2** LISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



**3** PRST/DISCボタンの+または-を押してディスクを選ぶ。

**4** ENTERボタンを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前を付ける」(24ページ)をご覧ください。

### 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離します。

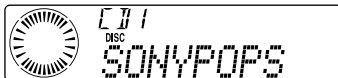
### ちょっと一言

「オートスクロールの設定」(58ページ)でA.Scr1 onにしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。

## 表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し表示を切り換えます。

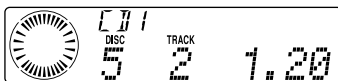
### CDの再生の場合



ディスク名/アーティスト名\*1\*2



曲名\*3( MDとCD TEXTのみ)



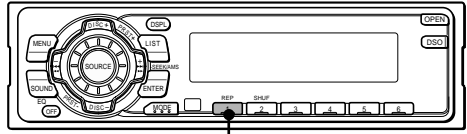
ディスク番号、曲番号と  
再生経過時間

- \*1 ディスク名がっていない時は「NO D.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。
- \*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- \*3 曲名がっていないときは「NO T.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



REP

MDまたはCDを再生中にREPボタンを押す。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返す ..... 「Repeat 1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す  
..... 「Repeat 2」\*にする。

\*CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

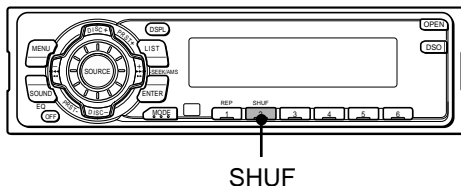
リピート再生をやめるには

REPボタンを押して「Repeat off」を選びます。

# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

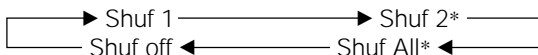


## ちょっと一言

シャッフル再生中は、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

MDまたはCDの再生中にSHUFボタンを押す。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには ..... 「Shuf 1」にする。
  - 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには ..... 「Shuf 2」\*にする。
  - 接続している2台以上のチェンジャー内のディスクの曲を順不同に再生するには ..... 「Shuf All」\*にする。
- \* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

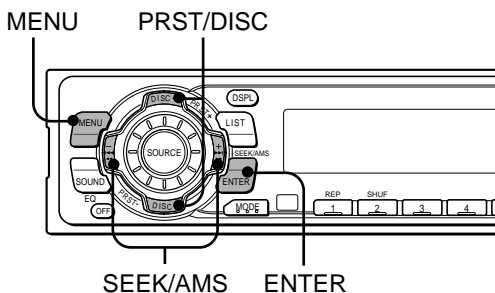
シャッフル再生をやめるには

SHUFボタンを押して「Shuf off」を選びます。

# ディスクに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。



ちょっと一言

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。

- PRST/DISCボタンの+側を押すごとに  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 → +  
→ - → \* → / → \ →  
→ → → ...

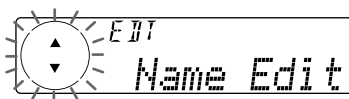
と変わります。

PRST/DISCボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。

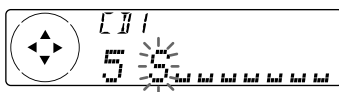
- 文字をあげたいときは、「↑」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

**1** CDを再生中にMENUボタンを押す。

**2** PRST/DISCボタンの+または-を押して「Name Edit」を選び、ENTERボタンを押す。



**3** PRST/DISCボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

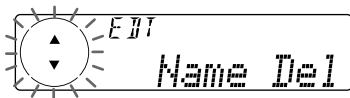
**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

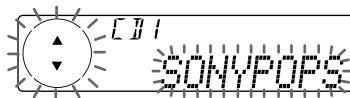


## 名前を消去するには

- 1 CDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Name Del」を選び、ENTERボタンを押す。



- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して消去するディスクの名前を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを2秒以上押す。  
選択したディスクの名前が消去されます。  
ほかのディスクの名前を消すときは手順3～4を繰り返します。

- 5 MENUボタンを押す。  
通常の画面が表示されます。

### ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

### ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(24ページ)の手順3で、すべての文字に「w」を入力して名前を消すこともできます。

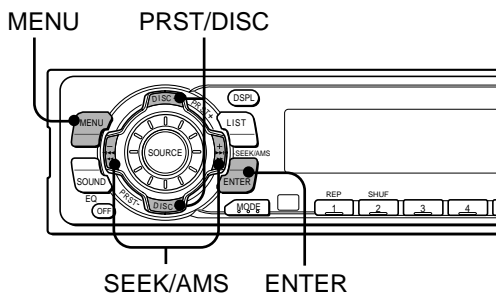
# CDの聞きたい曲だけを聞く

(バンク/カスタムファイル)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、別売りのCD機器を接続してディスクメモ機能(24ページ)で名前をつけたCDのみです。

## ご注意

- 「Skip」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

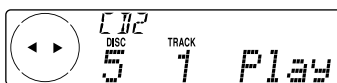


## とばす曲を指定する

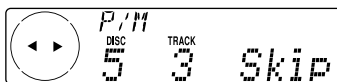
- 1 名前をつけたCDを再生する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Bank Sel」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。



- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押してとばしたい曲の番号を表示させて、ENTERボタンを押す。



表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。「Play」に戻すときは、もう1度ENTERボタンを押します。

- 6 手順5を繰り返して、とばす曲全部に「Skip」を設定する。
- 7 MENUボタンを2回押す。  
通常の画面が表示されます。

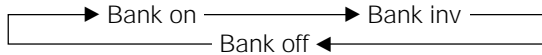
## 曲をとばしながら聞く

- 1 CDを再生中にMENUボタンを押す。
- 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Bank」を選ぶ。



- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押し、再生のしかたを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 「Play」(再生する)を設定した曲だけ再生する  
.....「Bank on」にする。
- 「Skip」(とばす)を設定した曲だけ再生する  
.....「Bank inv」にする。

バンク再生をやめるには  
手順3で「Bank off」を選びます。

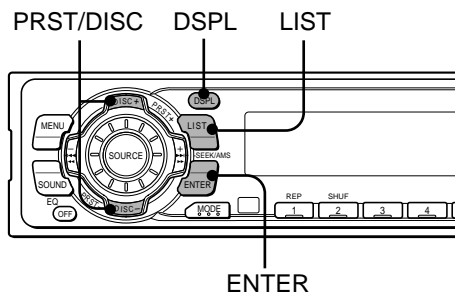
# ディスクを名前 で探す

(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのMDチェンジャーを接続した場合
- 別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続した場合

CDについてはディスクメモ機能(24ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



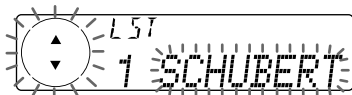
## ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「\*\*\*\*\*」: 名前がついていない。
- 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。

## 1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



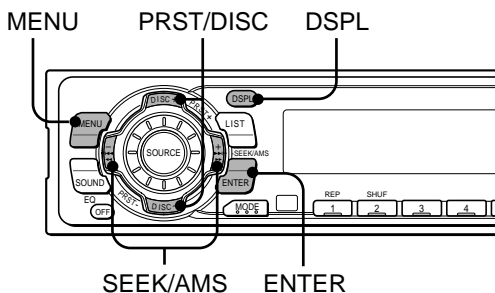
## 2 PRST/DISCボタンの+または-を押してディスクを選ぶ。

## 3 ENTERボタンを押す。

そのディスクの1曲目から再生が始まります。

# CD TEXTを見る

CD TEXT対応のCDチェンジャー/CDプレーヤーを接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

## ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字数を表示しきれないことがあります。
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示にしているときだけです。

## ディスク名表示を換えるには

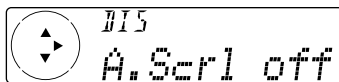
ディスクメモ機能(24ページ)で名前を登録したCD TEXTディスクを再生している場合は、ディスクメモ名が表示されます。

## オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応のCDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「on」にすると11文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

**1** CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

**2** PRST/DISCボタンの+または-を押して「A.Scrl」を選ぶ。



**3** SEEK/AMSボタンの+側を押して「A.Scrl on」を選ぶ。

**4** ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには

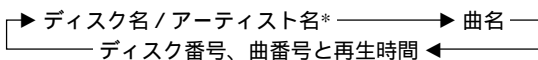
手順3で「A.Scrl off」を選びます。

[次のページへつづく](#)

## CD TEXTを見る(つづき)

CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すごとに

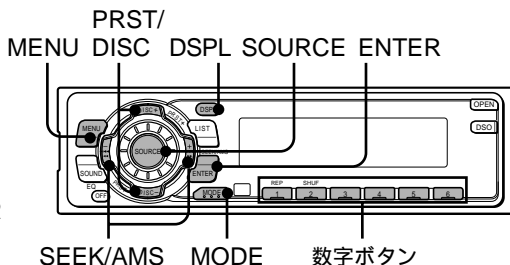


と切り換わります。

\* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

# 放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

## ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについてくわしくは、35ページをご覧ください。

1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

と切り換わります。

3 MENUボタンを押す。

4 PRST/DISCボタンの+または-を押して「BTM」を選ぶ。



5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

次のページへつづく

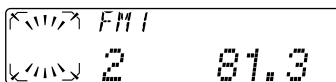
## 放送局を自動で登録する(つづき)

### 登録した放送局を聞くには

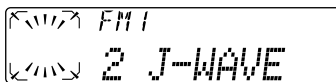
ラジオ受信中に数字ボタン、PRST/DISCボタンの+または-を押して聞きたい放送局を選ぶ。

### 表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押しして表示を切り換えます。



周波数



放送局名\*

\* 名前を登録されている場合。

### 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

SEEK/AMSボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

- 1 ラジオ受信中、MENUボタンを押し、PRST/DISCボタンの+または-で「Local」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+側で「Local on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。



## ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押し、PRST/DISCボタンの+または-で「Mono」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+側で「Mono on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには  
手順2で「Mono off」を選びます。

## 受信周波数を自動的に調整する (IF Autoモード)

雑音が入って放送が聞きにくくなる場合、受信周波数の幅を自動的にせばめるためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもステレオで聞くことができます。

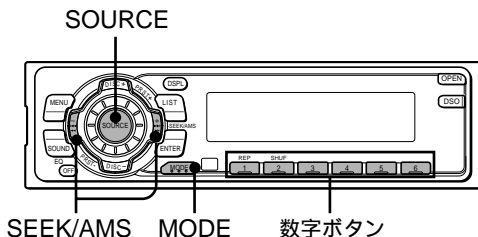
- 1 MENUボタンを押す。
- 2 PRST/DISCボタンを繰り返し押しして「IF Auto」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押しして「Wide」を表示させる。
- 4 最後にENTERボタンを押す。

### ご注意

IF Autoモードを「Wide」にすると、雑音が入って放送が聞きにくくなる場合があります。

# 特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(31ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

## ちょっと一言

「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

**1** SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

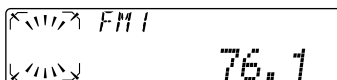
**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

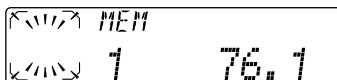
FM1 → FM2 → AM1 → AM2

と切り換わります。

**3** SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。



**4** 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

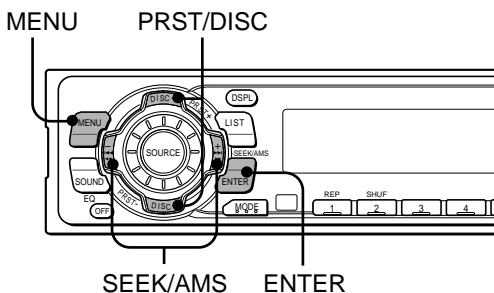


押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

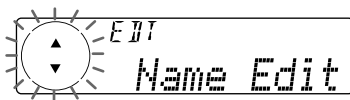
# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

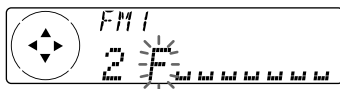
放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



- 1 名前をつけたい放送局を受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Name Edit」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 PRST/DISCボタンの+または-を押して挿入する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

- 5 手順4を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。


通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- PRST/DISCボタンの+側を押すごとに  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 →  
+ → - → \* → / →  
\ → → → → □  
と変わります。  
PRST/DISCボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、「□」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

## 放送局に名前をつける(つづき)

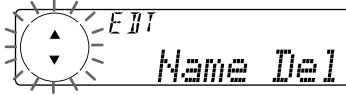
ちょっと一言

「放送局に名前をつける」  
(35ページ)の手順4で、すべての文字に「」を入力して名前を消すこともできます。

## 放送局の名前を消去する

**1** ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

**2** PRST/DISCボタンの+または-を押して「Name Del」を選び、ENTERボタンを押す。



**3** PRST/DISCボタンの+または-を押して消去する放送局名を選ぶ。



**4** ENTERボタンを2秒以上押す。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返しします。

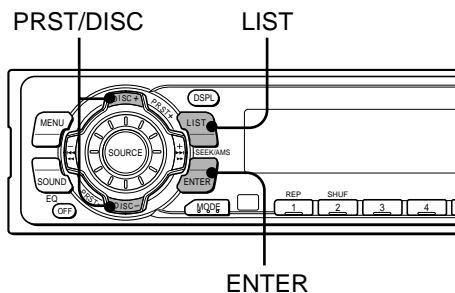
**5** MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

# 放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは、35ページをご覧ください。

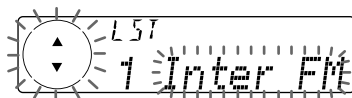


## ちょっと一言

選択をキャンセルするには  
LISTボタンを押します。

### 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



### 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して放送局を選ぶ。

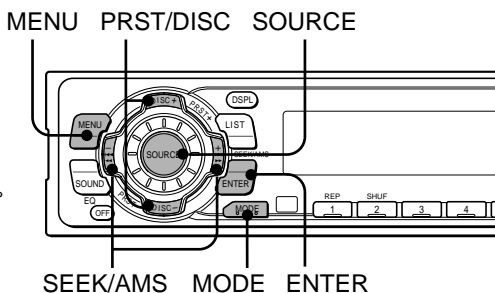
### 3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

ロータリーコマンドで放送局を選ぶには  
VOLつまみを押しながら回すとリストの中の放送局名を選択  
できます。

# 別売りのテレビ を見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。



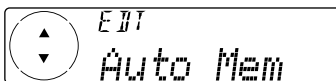
## ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 「TV1」と「TV2」のそれぞれに6局ずつ、合わせて12局まで登録できます。

\* 表示はTVモニターの機種により異なります。

## チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押しして「TV」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押して、「TV1」または「TV2」にする。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Auto Mem」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「Auto Mem」が数秒間点灯表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」\*などと表示されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

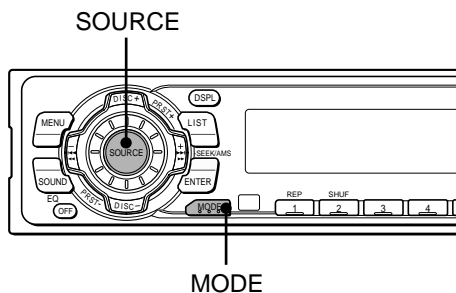
## 操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～6、PRST/DISCボタンの+または-を押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(33ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 TV受信中にMENUボタンを押す。</li> <li>2 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Main」または「Sub」を表示する。</li> <li>3 「Main」の表示が出た場合は、SEEK/AMSボタンの+側を押して「Sub」を選び、ENTERボタンを押す。</li> </ol> 通常の音声に戻すには 手順3で「Main」を選びます。
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 SOURCEボタンを繰り返し押し て「TV」にする。</li> <li>2 MODEボタンを押して「TV1」 または「TV2」にする。</li> <li>3 SEEK/AMSボタンの+または- を押して登録するテレビ局を受 信する。</li> <li>4 登録したい数字ボタンを「MEM」 が表示されるまで押す。</li> </ol>
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(35ページ)の操作をする(手順1で、「TV1」または「TV2」を受信する)。

# 別売りのビデオ を見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書をご覧ください。

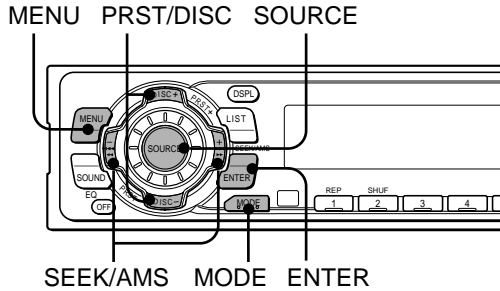


- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、「TV」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押し、「AUX」を選ぶ。
- 3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。



# 映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)



## ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

## ちょっと一言

サイマルプレイ中、「AUX VIDEO」表示は「V1」となります。

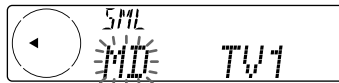
- 1 TV受信中にMENUボタンを押す。
- 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Simul sel」を選び、ENTERボタンを押す。



- 3 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶ。



- 4 MODEボタンを押して「TV」表示にする。

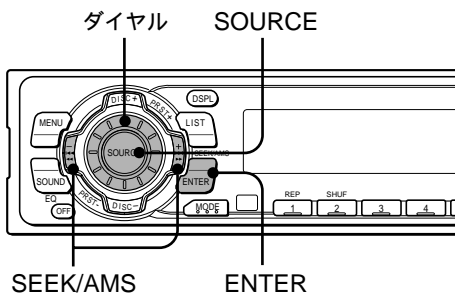


- 5 ENTERボタンを押す。  
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには  
テレビまたはビデオを止めるには  
手順4で「 - - - 」を選びます。  
CDまたはMDを止めるには  
手順3で「 - - - 」を選びます。

# 電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



## ご注意

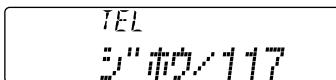
- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合もあります。
- 電話側の登録可能件数に関わらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件全て登録されている場合は、アダプター接続後、全てを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 次の表示の場合、電話がかけられません。
  - 「ケンガイ」:  
圏外するとき
  - 「ハッシンフノウ」:  
発信不能のとき
  - 「No Phone」:  
電話が接続されていない

## ちょっと一言

カードリモコンで操作する場合は、SOURCEボタンで「TEL」を選び、VOL+/ノーマンで相手先を検索してください。ENTERボタンを押すと発信されます。

**1** SOURCEボタンを繰り返し押し、「TEL」表示にする。

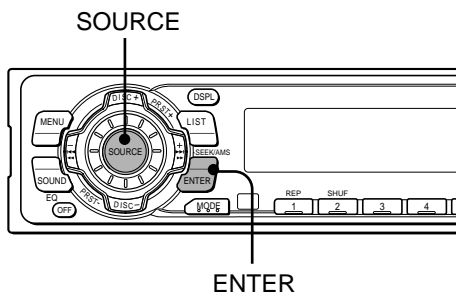
**2** ダイヤルを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



発信/着信履歴にある番号にかけるにはSEEK/AMSボタンの+または-を押して履歴にある番号を探す。発信/着信履歴の表示のしかたについては44ページをご覧ください。

**3** ENTERボタンを押して発信する。

# 電話を受ける



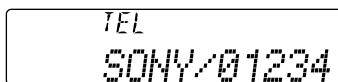
## ちょっと一言

カードリモコンのENTERボタン、ロータリーコマンド - のVOLつまみでも電話を受けることができます。

## ご注意

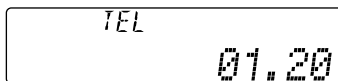
表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

- 1 スピーカーと本体から着信音がなり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の名前と電話番号を表示します。

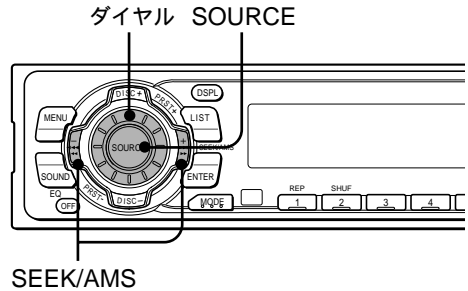
- 2 ENTERボタンを押す。



電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには手順1の次にSOURCEボタンを押します。

# その他の操作



## ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。  
SOURCEボタンを押したとき  
サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないとご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。

## 通話が終わったら

元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。  
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

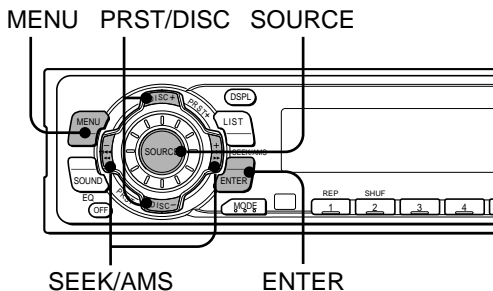
## 受話器の音量を調節するには

通話中はダイヤルが音量の調節になります。ダイヤルを回して希望の音量に調節してください。

## 発信・着信履歴を表示するには

SEEK/AMSボタンの+側を押すと発信履歴、-側を押すと着信履歴がそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

# その他の設定



## 着信の設定

- 「RCV ON/OFF」→ 電話を受けられないようにする(着信拒否設定)
- 「Alarm」→ 本体の着信音をON/OFFする(スピーカーからの着信音はOFFにできません)

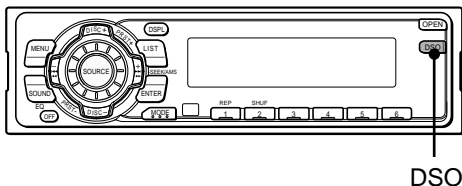
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。
- 4 SEEK/AMSボタンの+側を押して設定を選び、ENTERボタンを押す。

## 発信・着信履歴を消去する

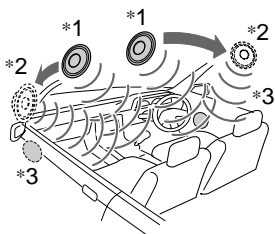
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して「History」を選び、ENTERボタンを2秒以上押す。  
「Clear」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。

# DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



バーチャルスピーカーのイメージ



- \*1 スタンダード
- \*2 ワイド
- \*3 実際のスピーカー(フロントドア下)

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## DSOを選ぶ

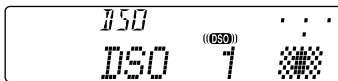
設定の種類	設定内容
DSO 1~3	バーチャルスピーカー(スタンダード)
Wide	バーチャルスピーカー(ワイド)
off	DSO設定解除

**1** 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する

**2** DSOボタンを押して、DSOモードを選ぶ。

押すごとに

DSO 1 → DSO 2 → DSO 3 → Wide → off  
と切り換わります。



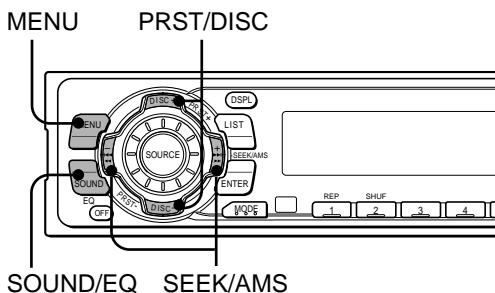
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOをやめるには

設定の手順2で「off」を選びます。

# イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた4種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



## イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUND/EQボタンを繰り返し押し、「EQ」にする。
- 3 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押し、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに

Rock ↔ Vocal ↔ Groove ↔ Techno ↔

Custom ↔ off

と切り換わります。



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには  
手順3で「off」を選びます。

### ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## イコライザーを使う(つづき)

### ご注意

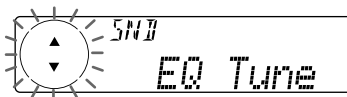
EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

### ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±12dBです。

### 好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して「EQ Tune」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してイコライザーカーブを選び、ENTERボタンを押す。



- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押して周波数を選ぶ。

押すごとに

62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔ 1.0kHz ↔ 2.5kHz  
↔ 6.3kHz ↔ 16.0kHz  
と切り換わります。

- 6 PRST/DISCボタンの+または-を押してレベルを調節する。

手順5と6を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

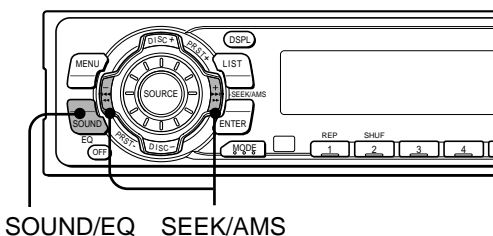
- 7 ENTERボタンを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。



# リスニングポジションを設定する (POS)

聞き手の位置(リスニングポジション)を選べると、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。



## 設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
All	全席(運転席/助手席/後席)
Front	前席(運転席/助手席)
Front-R	前方右(運転席)
Front-L	前方左(助手席)
Rear	後席
off	ポジション設定解除

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUND/EQボタンを繰り返し押し、「POS」にする。

[次のページへつづく](#)



1 All



2 Front



3 Front-R



4 Front-L



5 Rear

## リスニングポジションを設定する(つづき)

### ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

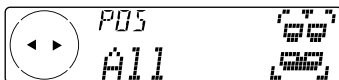
- 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押してリスニングポジションを選ぶ。

押すごとに

All ↔ Front ↔ Front-R ↔ Front-L ↔

Rear ↔ off

と切り換わります。

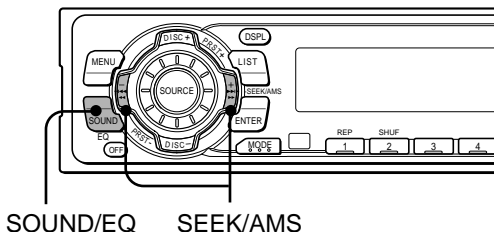


約3秒後に、通常の画面が表示されます。

リスニングポジション設定を解除するには  
設定の手順3で「off」を選びます。

# 音のバランスや音質を設定する

(バランス)  
(ATT)  
(ソースサウンドメモリー)



## ちょっと一言

SOUND/EQボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL → F  
→ R → SUB → 通常画面  
→ EQ  
と切り換わります。

## ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## ちょっと一言

ロータリーコマンドのATTボタンでも操作できます。

## 出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUND/EQボタンを繰り返し押し、「BAL」にする。



- 3 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押して出力バランスを調節する。  
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

## 音量を瞬時に小さくする

カードリモコンのATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。

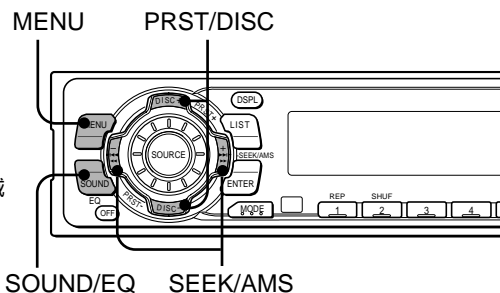
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。  
「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。

## ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(FM、AM、CD、MD、TV、AUX)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

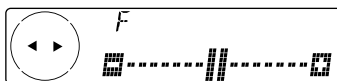
# スピーカーの出力を設定する

設置されているシステムの特徴に合わせて、フロントのリアの出力レベル及び周波数帯域を調節することができます。



## 出力レベルを調整する

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生 / 受信する。
- 2 SOUND/EQボタンを繰り返し押し、「F」または「R」にする。



### ちょっと一言

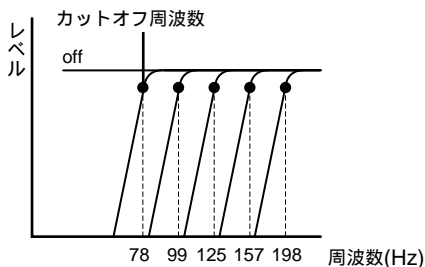
3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

- 3 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

## フロント/リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かすためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して、「Front HPF」または「Rear HPF」を選び、ENTERボタンを押す。



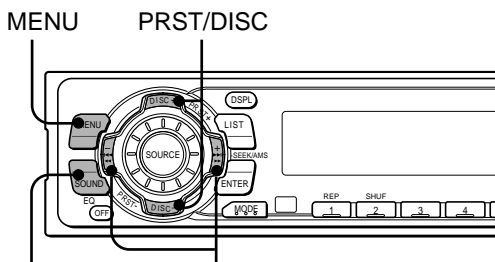
- 4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 PRST/DISCボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。
- 6 ENTERボタンを押す。  
通常の画面に戻ります。

### ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに off(初期値) ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。

# サブウーファ－ の出力を設定 する

サブウーファ－音声出力端子に接続したサブウーファ－の周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。 SOUND/EQ SEEK/AMS



## 出力レベルを調整する

- 1 設定するソース（CD、MD、ラジオなど）を再生 / 受信する。
- 2 SOUND/EQボタンを繰り返し押し、「SUB」にする。



- 3 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押し、出力レベルを調整する。

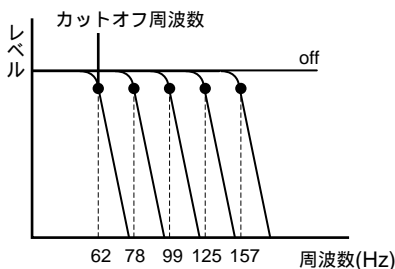
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

### ちょっと一言

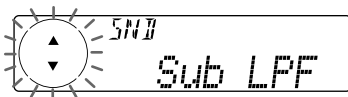
3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 PRST/DISCボタンの+または-を押して「Sub LPF」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 PRST/DISCボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。
- 6 ENTERボタンを押す。  
通常の画面に戻ります。

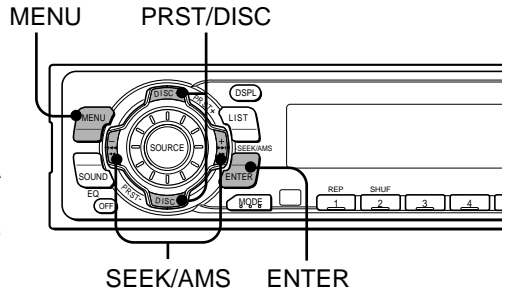
### ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに  
62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz  
↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔  
off  
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。

# スペクトラムアナライザーを選ぶ

(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。表示パターンは6種類の中から選ぶことができます。



## 設定を選ぶ

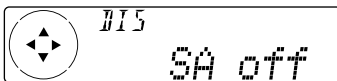
設定の種類	表示パターン
SA 1	
SA 2	
SA 3	
SA 4	
SA 5	
SA 6	
SA off	設定解除
SA Auto	SA 1 ~ SA 6のパターンを順に表示します。



1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 PRST/DISCボタンの+または-を繰り返し押し  
て、「SA」を選ぶ。



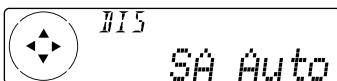
4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してSAの  
パターンを選ぶ。

押すごとに

SA 1 ↔ SA 2 ↔ SA 3 ↔ SA 4 ↔ SA 5 ↔

SA 6 ↔ SA off ↔ SA Auto

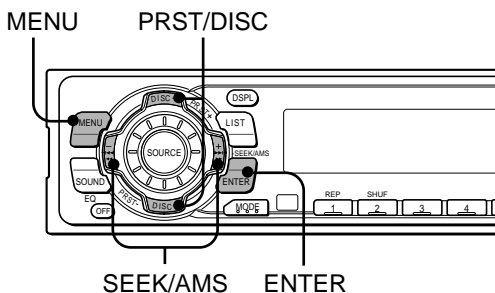
と切り換わります。



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

# 音や表示などの 設定を変える

( Set up/Display )



## Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Clock」	時計の設定。(9ページ)
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「RM」	ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」→ 初期設定の回転方向。 「rev」→ 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

## Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」	常に時計を表示させる。
「SA」	スペクトラムアナライザーの設定。(56ページ)
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」→ 車の照明をONにすると表示が減光する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」→ 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」→ 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Contrast」	表示のコントラストを変える。
「M.Dspl」	モーションディスプレイの設定をする。 「1」「2」→ 表示中にモーションディスプレイする。 (2タイプ) 「off」→ モーションディスプレイしない。
「A.Scr」	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(29ページ)

## 設定を変える

---

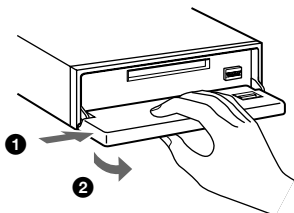
- 1 MENUボタンを押す。
  - 2 PRST/DISCボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。
  - 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して調節したい設定にする。  
(例:「on」または「off」)
  - 4 ENTERボタンを押す。
-

# 使用上のご注意

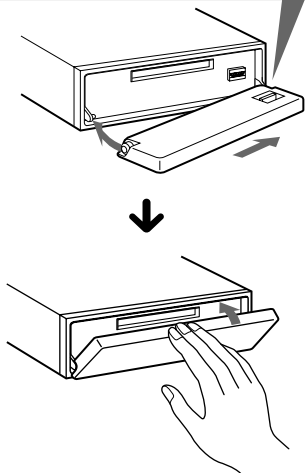
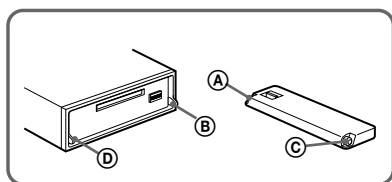
## 本機の取り扱い

### フロントパネルについて

取り外すときは必ず、OFFボタンを押し、電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの①部分と本体の②部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの③部分と本体の④部分を合わせて取り付けます。

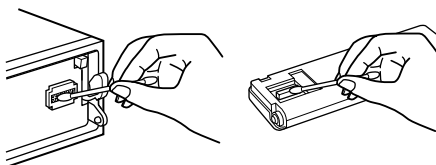


## ⚠️ 注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

### コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

### 液晶表示について

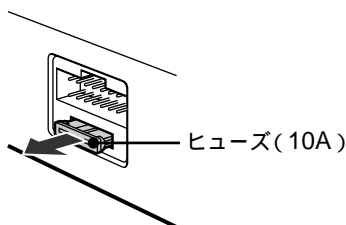
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

### 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

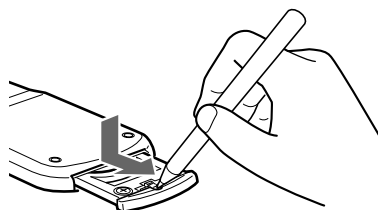
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

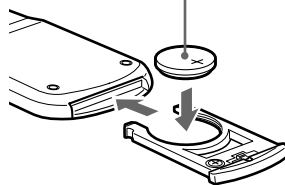
## カードリモコン

### 電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



### 電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

[次のページへつづく](#)

## 使用上のご注意( つづき )

### 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

#### 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

#### 注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>音量を上げてください。</li><li>ATT機能を解除してください。</li><li>スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>リセットボタンを押した。</li><li>動作電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(58～59ページ)を「on」にしてください。
	なにも表示されない。	OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。
MD/CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>すでに別のディスクが入っている。</li><li>ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上にして入れてください。</li></ul>
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li><li>ディスクが傷ついている。</li><li>本機の取り付け角度が20°を越えている。</li><li>本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li><li>MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li></ul>

[次のページへつづく](#)

## 故障かな?( つづき )

	原因・処置
<p>受信できない、雑音しか出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>• カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>• オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>• 周波数を確認してください。</li> </ul>
<p>ラジオ/テレビ SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数しか受信しません。 → 「Local off」にしてください(32ページ)。</li> <li>• 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。</li> </ul>
<p>ステレオ放送が聞きにくい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 周波数を確認してください。</li> <li>• 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(33ページ)。</li> </ul>
<p>サウンド設定 音がでない、または音が小さい。</p>	<p>DSOやリスニングポジションの調節でエフェクトレベルを上げすぎて、後部座席のスピーカーの音量が自動的に小さくなった。または、バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → サウンドを調節します。スピーカーバランスはサウンドの設定(51ページ)で調節できます。</p>
<p>携帯電話 通話相手の音声がかえらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 → 本機のVOLダイヤルで音量を調整してください。</li> <li>• 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいとき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。</li> </ul>
<p>ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。</li> <li>• 通話相手が圏外にいる。</li> <li>• 電波の弱いところにいる。 → サービスエリア内でダイヤルしてください。</li> <li>• アンテナを十分に伸ばしていない。</li> </ul>



症状	原因・処置
ENTERボタンを押しても発信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。</li> <li>• 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。</li> </ul>
携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。</li> <li>• 携帯電話ハンズフリーキットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている。(42ページ)</li> <li>• 登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください。(最大5分)</li> </ul>
電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。
電話がかからない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。</li> <li>• 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。</li> </ul>
「No phone」と表示される。	<p>携帯電話が接続されていない。 → 携帯電話を接続してください。</p>

## 故障かな?(つづき)

### CD/MDのメッセージ、エラー表示

本機や本機に接続されたCDチェンジャー、MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
No Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
No Mag	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NG Discs	チェンジャー内のディスクが何らかの原因ですべて再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

### 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

### 部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

# 主な仕様

## MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

### AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 $\mu$ V

## グラフィックイコライザー部

中心周波数	62Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	$\pm$ 12dB

## アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	50W $\times$ 4(4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 179mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 162mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	カードリモコン RM-X91(1) (リチウム電池(1)を含む) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売品

CDチェンジャー(10枚)  
CDX-838、CDX-737など  
MDチェンジャー(6枚)  
MDX-65など  
PDCハンズフリーユニット  
XCH-1000  
パワーアンプ  
XM-405EQXなど  
ソースセレクター XA-C30  
ロータリーコマンド  
RM-X4S  
バスケーブル(RCAピンコード  
付属)  
RC-61(1m)  
RC-62(2m)  
バス延長コード  
RC-U305(0.5m)  
RCAピンコード  
RC-63(1m)  
RC-64(2m)  
RC-65(5m)  
電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライ  
ザーは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンス  
コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許  
諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更  
することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

### ア行

- イコライザー ..... 47 - 48
- エラー表示 ..... 66
- 音量 ..... 12 - 13

### カ行

- カスタムファイル ..... 24 - 27

### サ行

- サイマルプレイ ..... 41
- サブウーファー出力 ..... 54 - 55
- スクロール ..... 29、58
- ステーションメモ ..... 35 - 36
- シャッフル ..... 23
- ステレオ放送 ..... 33
- スピーカーバランス ..... 51
- スペクトラムアナライザー ..... 56
- ソースサウンドメモリー ..... 51

### タ行

- ディスクメモ ..... 24 - 25
- テレビ ..... 38 - 40
  - 名前をつける ..... 39
  - 登録 ..... 38 - 39
- 登録
  - 自動登録 ..... 31 - 32
  - ラジオ局 ..... 31 - 32、34
  - テレビ局 ..... 38 - 39
- 時計 ..... 9

### ナ行

#### 名前

- 消去する ..... 25、36
- つける ..... 24、35、39
- 表示する ..... 28、37

### ハ行

- バランス ..... 51
- バンク ..... 26 - 27
- ヒューズ ..... 61
- 表示窓
  - メニュー ..... 14
  - MD/CD ..... 21
  - ラジオ ..... 32
- フロントパネル ..... 60
- ベストチューニングメモリー  
(BTM) ..... 31
- ボタンの音 ..... 58

### ラ、ワ行

- ラジオ ..... 13、31 - 37
  - 自動選局 ..... 32
  - 登録 ..... 31 - 32、34
  - 名前で探す ..... 37
  - 名前をつける ..... 35
- リスニングポジション ..... 49 - 50
- リスト ..... 28、37
- リセット ..... 8
- リピート ..... 22
- リモコン
  - カードリモコン  
..... 16、61 - 62
  - ロータリーコマンダー  
..... 17 - 18

## アルファベット順

- ATT ..... 51
- BAL ( Balance ) ..... 51
- MD/CD ..... 19 - 30
  - ディスク名のリスト ..... 28
  - 名前で探す ..... 28
  - 名前を消去する ..... 25
  - 名前をつける ..... 24
  - CD TEXT ..... 29 - 30
- DIS ( Display )
  - A.Scrl ..... 29、58
  - Bank sel ..... 26
  - Contrast ..... 58
  - D.Info ..... 58
  - Dimmer ..... 58
  - M.Dspl ..... 58
  - SA ..... 56 - 58
- DSO ..... 46
- EDT ( Edit )
  - Auto mem ..... 38
  - BTM ..... 31
  - Name edit ..... 24、35
  - NameDelete ..... 25、36
- EQ ..... 47 - 48
- F ( Front ) ..... 52
- P/M ( Play Mode )
  - Bank ..... 27
  - Local ..... 32
  - Mono ..... 33
- POS ..... 49 - 50
- R ( Rear ) ..... 52
- Repeat ..... 22
- SET ( Set up )
  - Beep ..... 58
  - Clock ..... 9、58
  - RM ..... 58
- Shuf ..... 23
- SND ( Sound )
  - EQ tune ..... 48
  - Front HPF ..... 53
  - Rear HPF ..... 53
  - Sub LPF ..... 55
- SUB ..... 54



ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客でご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間:月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



\* 1 - 3 - 0 4 5 - 1 9 2 - 0 2 \* (1)